

平成23年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検・評価報告書

平成24年3月

出雲崎町教育委員会

## 平成 23 年度点検・評価報告書の概括について

### 1 議会に報告する事由

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条」の規定により、平成 20 年度から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者を活用して、毎年、教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告することとなった。

上記の規定により、下記の通り点検・評価を行った。

### 2 学識経験者の知見の活用

平成 23 年度点検・評価に当たっては、客観性を持たせるため、元長岡市立北中学校長の山崎十五郎氏（旧西山町）から指導を得て、記述の形式や項目ごとに整理しながら、最後に総合評価をいただいた。

### 3 報告書作成に当たって

- (1) 各重点施策において、具体的な取組み状況を列記しながら、その成果を分かりやすく整理した。
- (2) 今回の点検・評価は、アンケート形式で教育委員・PTA 役員及び教育課職員から感想を求め、それを集約し、成果と課題のなかで整理した。又、社会教育のなかで子どもたちが関わった事業について、アンケート形式で学校の管理職からも感想を求め、成果としてまとめた。
- (3) 文中のアンダーラインは、今後の課題として表している。

### 4 報告書の内容から見られる主だった評価

- (1) 「教育委員の活動状況」については、保護者や地域住民に対して、機会あるごとに情報の発信を行い、教育委員会活動の周知に努めたい。
- (2) 「学校教育」については、学校と家庭、教育委員会が連携を取り、授業の改善、家庭学習の定着等を図りながら学力向上に結び付けられる努力をしていきたい。
- (3) 「社会教育」については、各事業にあたって、町民のニーズを把握しながら、歴史や文化など町の特色を生かした計画で、参加者を増やす工夫を再認識した。等など、各施策の達成状況や課題を整理し、今後の教育行政の推進に反映させていきたい。

### 5 今後の点検・評価について

点検・評価の実施について、次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、検討していく。

- (1) 点検・評価の項目について、写真や新聞記事、町民アンケート等も掲載し、きめ細かな視点に立って改善を図りたい。
- (2) 次年度においても、教育委員及び教育委員会職員のほか、教育関係者からも点検・評価の感想を求めている。

## 目 次

	頁
I 教育委員会の会議及び委員の活動状況について	…… 1
II 各重点施策の点検・評価	
1 重点施策 学校教育「確かな学力の向上について」	…… 3
2 重点施策 学校教育「豊かな心の育成について」	…… 7
3 重点施策 学校教育「健やかな体の育成について」	……10
4 重点施策 学校教育「特別支援教育について」	……13
5 重点施策 学校教育「信頼に応える教育について」	……15
6 重点施策 学校教育「学校・家庭・地域の連携充実について」	……20
7 重点施策 社会教育「生涯学習の充実について」	……23
8 重点施策 社会教育「歴史・文化の振興について」	……31
9 重点施策 社会教育「体育・スポーツ活動の振興について」	……37
10 重点施策 学校・社会教育「施設の整備充実について」	……39
III 学識経験者からの総合評価	……41
IV その他	……43



平成 23 年 10 月 23 日(日)

出雲崎中学校創立 40 周年記念式典及び

記念事業（新潟ウインドオーケストラの演奏会）の一コマ

## I 教育委員会の会議及び委員の活動状況について

### (1) 教育委員会の定例会・臨時会の開催状況

- 定例会 6回
- 議案等件数 ・議案24件 ・報告8件
- 臨時会 2回(7月、3月)
- 教育委員研修(柳津町との懇談会)11月14日/月・町中央公民館

### (2) その他の参加活動状況

- ・転入教職員面識会(4月1日/金)
- ・小・中学校入学式(4月6日/水)
- ・町教育研究会研修会、総会(5月6日/金)
- ・出雲崎小学校運動会(5月21日/土)
- ・出雲崎小学校給食試食会(7月7日/木)
- ・県市町村教育委員会連合会総会(7月26日/火)
- ・県市町村教育委員会連合会総会(7月26日/火)
- ・町成人式(8月16日/火)
- ・県市町村教育委員会連合会総会(7月26日/火)
- ・出雲崎中学校体育祭(9月11日/日)
- ・狂言鑑賞会(9月21日/水)
- ・出雲崎中学校吹奏楽定期演奏会(9月25日/日)
- ・出雲崎中学校ふれあい音楽教室(9月29日/木)
- ・出雲崎小学校文化祭(10月16日/日)
- ・出雲崎中学校創立40周年記念式典(10月23日/日)
- ・未来の夢こども体験講演会(10月26日/水)
- ・出雲崎小学校きずな集会(11月1日/火)
- ・生涯学習フェスティバル(11月2日/水・3日/木)
- ・子育て教育講演会(11月12日/土)
- ・学校施設営繕視察検討会(11月28日/月)
- ・出雲崎中学校いじめ撲滅集会(12月2日/金)
- ・出雲崎小学校6年生総合学習発表会(H24年3月3日/土)
- ・町教育委員会表彰伝達式(H24年3月5日/月)
- ・中学校卒業式(H24年3月5日/月)
- ・小学校卒業式(H24年3月23日/金)

## ▶概要

平成23年度の教育委員会会議は、定例会や臨時会を開催しながら、教育行政における議案について審議した。また教育委員の方々は、地教行法の趣旨である「自覚と責任」を意識しながら、年間を通じて学校行事や社会教育行事に積極的に参加して活動いただいた。

## ▶成果と課題

この項目について教育委員の主な感想は、次のとおりである。

### ○会議の開催状況、審議内容、研修等について

- ・会議は適切に開催され、審議内容も適切である。
- ・日程等を調整し、適切に開催されている。
- ・事前配布が徹底し、議事案件が周知されている。
- ・目標をおおむね達成している。
- ・もう少し研修会などの回数が欲しい。
- ・他の自治体の実情や活動内容の研修を今以上に必要と思う。
- ・テーマを設定し、研修し合うことが必要である。



教育委員会の様子

### ○保護者等からの意見反映について

- ・PTA、保護者、地域住民が意見交換をできる場が欲しい。
- ・年1回位、合同の意見交換があっても良い。
- ・保護者の声が届くやすくなっている。
- ・それぞれの連携がよく、地域住民も巻き込んで、広く教育行政が推進されている。
- ・地域住民の声（要望等）が伝わってこない。

### ○委員活動への支援・点検について

- ・予算の都合もあるが、おおむね達成されている。
- ・施設の点検・検討会は充実しているが、学校からの毎年同じ要望が実現できないこともあり、残念である。

### ○教育委員として学校行事への関心度について

- ・適時、学校行事以外にも参加した。
- ・その都度、関心を持って参加している。
- ・これからの子ども達に期待している。
- ・教育現場を知る上で、極めて有効であり、強い関心をもって参加している。

### ○教育委員活動の情報公開について

- ・目標をおおむね達成している。
- ・教育委員の活動（視察等）をPRすべきである。

## Ⅱ 各重点施策の点検・評価

1 重点施策	学校教育「確かな学力の向上について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>◎<u>出雲崎小学校の取組み</u></p> <p><b>(目標) 自分で課題を持ち、解決の見通しを立てることができる</b>            (取組み) ▶総合における個人ファイルの蓄積                ▶指導計画の改善            (結果) ▶児童アンケートでは「自分で課題を持ち、解決できた」と79%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 体験したことを自分の言葉で表現できる</b>            (取組み) ▶活動ごとの振り返りの実施                ▶書く機会の確保と主張朝会の実施            (結果) ▶児童アンケートでは「体験したことを自分の言葉で表現する」と87%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 生き方について関心をもつ</b>            (取組み) ▶地域に根ざし自ら学ぶ実体験活動の実施                ▶地域コーディネーターとの連携            (結果) ▶児童アンケートでは「生き方について関心をもつ」と82%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 学習ルールを守って学習できる</b>            (取組み) ▶学習3原則の実施                ▶職員の連携            (結果) ▶児童アンケートでは「学習ルールを守って学習できる」と84%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 筋道立てて文章を書き説明できる</b>            (取組み) ▶3～6年生でのTT指導を実施                ▶校内研修「思考力・表現力の育成」を目指した授業            (結果) ▶児童アンケートでは「筋道立てて説明ができるようになった」と83%の回答あり。</p> <p>◎<u>出雲崎中学校の取組み</u></p> <p><b>(目標) まとめテストの結果、全国平均を上回る</b>            (基準) ▶5教科×3学年=12教科のうち、12教科で全国平均を上回る            (結果) ▶1年：国語、数学、理科、英語　2年：数学、理科                3年：国語、社会、数学、理科、英語</p>

	<p><b>(目標) 授業で学んだことを補充・深化することができる</b>  (基準) ▶授業で学んだことを発表できる生徒が全体の70%以上であること  (結果) ▶学習アンケートでの結果  国88 社89 数84 理83 英94 保82 音100  美90 技・家96</p> <p><b>(目標) 授業の初めに習ったことを思い起こす</b>  (基準) ▶前時の想起が基礎基本の定着に役立つ割合90%以上であること  (結果) ▶学習アンケートでの結果  国99 社98 数100 理96 英97 保89 音95  美94 技・家90</p> <p><b>(目標) 自分で分かったことを友達と意見交換できる</b>  (基準) ▶友達との活動で学習内容が分かるようになった割合70%以上であること  (結果) ▶各教科の結果  国99 社95 数97 理92 英92 保90 音96  美90 技・家81</p> <p><b>(目標) 宿題の取組みで学習を習慣化させる</b>  (基準) ▶宿題と自学をやった生徒の割合50%以上  (結果) ▶各教科の結果  国68 社68 数63 理50 英60</p> <p><b>(目標) 進路の体験で設定した目標を達成する</b>  (基準) ▶全ての学年で90%以上  (結果) ▶総合学習の目標達成、全ての学年で90%以上であった。  (1年：職場体験 2年：上級学校訪問 3年：福祉体験)</p>
--	---

## ▶概要

確かな学力は、子ども達の「生きる力」の基となるものです。「わかる授業」を通じて、児童生徒の学ぶ意欲を高めて学力向上に向けた色々な取組みを行った。例年、実施されている全国標準学力調査（NRT）の結果でも、基礎的基本的な学力や学習態度は安定していることがうかがえるが、自分の考えなどを



根拠に説明する力の不足が課題であった。そのため、今年度はそれらを踏まえての学習指導が行われた。

### ▶成果と課題

学校・家庭・地域の三位一体の中で子ども達の学力向上を図っていかなければなりません。小・中学校のそれぞれの具体的な取組みのように、基礎的基本的な学習が確実に身に付くよう教育活動を展開してきた。その成果も徐々に上がってきていると思われる。今後もさらに子ども達一人ひとりの学習能力を見極め、課題となる項目をていねいに克服しながら、教育活動に取り組む必要がある。

この項目について教育委員やP T A役員、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・小学校1校と小規模学級のメリットとデメリットの環境での評価である。
- ・活動を忘れないうちにすぐに感想を書かせて発表することは、とても良いと思う。
- ・町の特産物の世話をしたり、野菜やコメ、地域コーディネーターの方々に接することは、子ども達にとって有意義なことだ。
- ・読書を基本とし、文の構成を自分で理解でき、それを文章で表しているのは、とても良い。
- ・とても良いと思う。
- ・自分の主張を声に出すのは良いと思う。
- ・教育計画に基づいて適切に取り組まれている。
- ・目標をおおむね達成している。
- ・出中学生徒のアンケートで授業前の前時の想起が、各教科とも基礎基本の定着に役立ったと肯定的に答えている生徒が多くおり、すばらしい。
- ・自分の意見を話すということは、非常に大切であり、アンケートの結果はすばらしい。
- ・各種取り組みとも、子ども達の学ぶ意欲を高め、学力向上に有効であると感じた。
- ・特に懸念される切磋琢磨の機会が少ないことを補う活動がほしい。
- ・近隣他校との交流活動等を定期的実施してほしい。
- ・小学校、中学校一貫における教育体制の構築も検討を。
- ・たくましさを培う気風と広い視野と人間交流の場を積極的に作ること。
- ・宿題をやった割合がもう少し高くてもよいと思う。
- ・出来ていると思うが、改善の余地あり。
- ・出来ていると思うが、先生にもよると思う。
- ・宿題を自主勉強と勘違いしてしまわないようにしてほしい。宿題は必要だ。

・目標に迫るための取組みが有効かつ適切だ。

例として、小学校では、・個人ファイル・主張朝会・コーディネーターとの連携・学習三原則の徹底・TT指導等。中学校では、・前時の想起の確保・宿題による学習の習慣化・小、中教員の交流。

・生きる力につながることであり、充実した指導を期待する。

・中学校との共通原則を図りたい。

・人間は、教えられても時がたてば忘れるもの。従って、想起活動は大切にしたい。

・家庭学習を習慣化、充実しないと絶対的に力はつかない。

・宿題をやったと答えた生徒のアンケート基準設定の50%以上は低いのではないか。



小学校の授業風景



中学校の授業風景

2 重点施策	学校教育「豊かな心の育成について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>◎<u>出雲崎小学校の取組み</u></p> <p><b>(目標) 自分から挨拶・会釈ができる</b>  (取組み) ▶あいさつ運動の実施 (タスキリレー)  ▶委員会活動による日常的な働きかけ  (結果) ▶児童アンケートでは「自分から明るいあいさつ・会釈をする」に88%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 正しく善悪を判断して行動できる</b>  (取組み) ▶全校一斉道徳授業の実施  ▶道徳授業における道徳作文の蓄積  (結果) ▶児童アンケートでは「いじめを見てやめなよと言えます」に73%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 悪口・陰口を言わない</b>  (取組み) ▶きずな集会の実施  (結果) ▶児童アンケートでは「相手の気持ちを考えた言葉づかいをしています」に76%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 学校を楽しいと思う</b>  (取組み) ▶一人ひとりが「なりたい自分」を設定し、達成に向けて取り組む。  ▶児童アンケートと各児童に向けて教育相談の実施  (結果) ▶児童アンケートでは「相手の気持ちを考えた言葉づかいをしています」に76%の回答あり。</p> <p>◎<u>出雲崎中学校の取組み</u></p> <p><b>(目標) 学級でよい友達関係を実感する生徒を増やす</b>  (基準) ▶アンケートで98%以上の生徒が肯定的な評価である。  (結果) ▶学級に安心して過ごせる友達あり93.9%の回答あり。</p> <p><b>(目標) 道徳の授業で人間関係を学ぶ</b>  (基準) ▶授業の振り返りで90%以上の生徒が肯定的な評価である。  (結果) ▶いじめ根絶集会など人間関係を育てる授業で、全員の生徒が考えることができた。</p>

	<p><b>(目標) 清掃の時間に自分の仕事を見つけ取組む</b></p> <p>(基準) ▶アンケートで90%以上の生徒が肯定的な評価である。</p> <p>(結果) ▶生徒の自己評価が99.1%であった。</p> <p><b>(目標) 相手の立場を考えて行動する生徒を増やす</b></p> <p>(基準) ▶相手の立場を考えて行動できたと回答する生徒90%以上とする。</p> <p>(結果) ▶肯定的な回答の生徒は90.9%であった。</p>
--	--

### ▶概要

豊かな人間性をはぐくむ心の育成については、小学校では、「感じる心の育成」を達成目標として、学校生活の中で道徳教育に関連づけた取組みを行い、社会一般的な模範意識の醸成を中心に育成を図ってきた。

中学校では、「お互いを思いやる、心優しい生徒」を達成目標として、規範意識の育成や信頼関係の構築に努力してきた。

### ▶成果と課題

小学校では、全体として、「きずな集会」など自校での道徳教育の課題を明確して、職員一致して指導に当たった。学校生活のあらゆる場面や機会において、より良い人間関係の構築に取り組んできました。

中学校でも、いじめ根絶集会・一斉道徳も含めて、一人ひとりが絆を目標について具体的な取組みができた。

この項目について教育委員やPTA役員、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・いじめ、不登校、問題行動の早期未然防止に積極的な取組みを評価する。
- ・常時、日常的な生活より関心を持って、徹底してもらいたい。
- ・なかなか声が出ない子が、出るようになったことはとても良い。
- ・学年によるが、よくやっていると思う。
- ・なかなか難しいが、よく取組んでいる。継続が大切だ。
- ・目標を立てることで自分のすべきことが、明白になるのでよいと思う。
- ・細かいことはあると思うが、学校の生徒の雰囲気はとても良いので、よく取組んでいると思う。
- ・日ごろの先生方のご指導のお陰と思う。今後もよろしく。
- ・きずな集会は、全校児童が一堂に介した道徳授業と考える。各学年、それぞれに応じて大切な道徳上の思いを述べ、素晴らしい考えや感想がほぼ出尽くしている。数ならではの成果と思う。

- ・生徒が極めて健全に育っている様子がよく伺える。服装、言動、態度からもよくわかる。
- ・きずな集会での小中児童生徒の交流は良いことである。
- ・学校が楽しいと感ずることは素晴らしいことである。
- ・人間関係がスムーズであることは、大きな力を得る。
- ・いじめや規範意識、人間関係の育成等、熱心に取り組まれている。
- ・目標をおおむね達成している。
- ・表に出ないいじめもあるかもしれないので、継続的に生徒達への指導をお願いしたい。
- ・小中学生とも、あいさつは、しっかりできていると思う。
- ・幼い時からの（幼なじみ）友達なので、気心が知り合っているとは言え、青春期（思春期）の傷つきやすい、むずかしい時期の変化の対応を注視してもらいたい。
- ・自ら声を出して明るい挨拶を実践することは、校内だけでなく社会においても大変必要（大切）なことです。今後ともよろしくご指導をお願いしたい。
- ・人間関係でストレスを感じて学校生活が嫌にならないように今後ともご指導を。
- ・特に公共施設での清掃を大切にす心がけを持てる人間になれるようにご指導を
- ・相手の気持ちを素直に考えて、生活・行動ができる人間になってほしい。
- ・明るい挨拶は、どの学校でも推進しているが「会釈」はヒットと思う。声がなくても「笑顔の会釈」もすばらしいのではないか。これからも進めてほしい。
- ・しかし道徳の時間は、他人のための時間ではない。自分の心に問うて見る時間である。自分のものにする問いかけが今一步欲しい。自分の時間である。児童があきないためにも。
- ・家庭や地域でのあいさつは、どうだろうか。
- ・清掃を通し「陰徳」が助長されればなおのこと良い。
- ・否定的な意見の生徒への対応や対策もお願いしたい。
- ・特に小学生において小さなからかいが、いじめに発展することがあるので、全校体制で取組んでいくことが大切である。



小学生が民生委員にサクラ草を贈呈

3 重点施策	学校教育「健やかな体の育成について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>◎<u>出雲崎小学校の取組み</u></p> <p><b>(目標) 命を大切にしたい生活ができる</b>  (取組み) ▶交通安全作文や標語の作成の取組み  (結果) ▶児童アンケートでは「命を大切にする生活ができる」に95%の回答あり。</p> <p><b>(目標) よく遊び、進んで運動する</b>  (取組み) ▶食育や生活習慣の改善に関わる授業の実施  ▶体育授業での運動量の確保(スポーツテストの結果分析)  (結果) ▶シャトルラン(往復持久走)で記録が向上した割合62.7%であった。(全校平均値)  ▶50m走で記録が向上した割合57.0%であった。(全校平均値)  ▶児童アンケート「よく遊び、進んで運動する」で90%以上が回答。  ▶保護者アンケート「お子さんの運動は十分と思うか」で61%以上が回答。</p> <p><b>(目標) 早寝、早起き、朝ご飯、読書等について</b>  (結果) ▶児童アンケート「早寝、早起き、朝ご飯、読書、手伝い」で79%が実施していると回答。</p> <p>◎<u>出雲崎中学校の取組み</u></p> <p><b>(目標) 新体力テストで個々の合計得点が全国平均を上回る</b>  (基準) 75%以上の生徒が全国平均を上回ること  (結果) ▶全校60.7%の生徒が全国平均を上回った。</p> <p><b>(目標) 運動に親しみ、自分の体力を向上させる</b>  (基準) 80%以上の生徒の体力に向上が見られること  (結果) ▶1学期末結果74%、2学期末結果74%</p> <p><b>(目標) 体力トレーニングで高い目標を持つ</b>  (基準) 80%以上の生徒が高い目標を持って取り組むこと  (結果) ▶1学期末結果90%、2学期末結果94%</p> <p><b>(目標) 6～8時間の睡眠時間を確保する</b>  (基準) 90%以上の生徒が6～8時間の睡眠を取ること</p>

	<p>(結果) ▶5月 90.2% 7月 90.0% 9月 92.4% 11月 95.4% 1月 83.7%</p> <p><b>(目標) バランスの取れた朝食を摂取する</b></p> <p>(基準) バランスの良い朝食(主食・副食・副菜) 摂取80%以上</p> <p>(結果) ▶5月 65.9% 7月 66.1% 9月 60.1% 11月 59.3% 1月 55.7%</p>
--	--

### ▶概要

各学校は、命の大切さや遊び、運動の推進、早寝、早起き等の奨励、体力向上など、それぞれの目標を設定しながら、学習活動の中で健やかな体の育成に向けて取り組んできた。

### ▶成果と課題

それぞれの目標に向けた取組みの成果は、児童生徒自身と保護者向けに対するアンケート結果を見ても、かなり良い評価が伺える。これも運動の向上のための授業改善や家庭や地域との連携した取組みと生活習慣の改善により、体力の向上を見られたものと思われる。

今後も、全校体制でより一層に成果で上がるように取り組んでいく必要がある。

この項目について教育委員やPTA役員、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・家族の方々からのご指導・ご協力が、かなり影響すると思う。
- ・よく実施されていると思う。
- ・忙しい中、達成されていると思う。
- ・日ごろからの交通安全、食生活の改善に尽力し、効果的に進められている。
- ・生活習慣「早寝、早起き、朝ごはん」など、アンケートを通して現状を分析し、健康に対する意識付けが熱心に図られている。
- ・目標をおおむね達成している。
- ・目的意識を与え、日々実践の繰り返しを実施してもらいたい。
- ・協調性と競争力で個性を育み、目標に挑戦し結果を恐れない活力を培ってもらいたい。
- ・命の大切さを児童生徒はまだ十分理解できないかもしれないので、ご指導を。
- ・自分のためにも、もう少し頑張ってもらいたい。
- ・頑張っているが、もう少し努力がほしい。
- ・親との連携がもっと必要だと思う。
- ・「命を大切に生活」は、100%肯定としたい。
- ・小学校時代に「よく遊ぶ」ことなしに成長するのは、将来的に不安。

- ・たとえば「早寝」はどのように良いのかという理論的構築が十分ではないかも知れない。
- ・個々の生徒の特性や差異があるから仕方がないが、全体的にレベルアップを図りたい。
- ・親の努力を期待したい。
- ・運動をすることと体力の向上が結びついていないのではないか。例として、朝食を取ることと、バランスのとれた朝食を取ることと同様に。



小学校運動会の一コマ



中学校体育祭の一コマ



4 重点施策	学校教育「特別支援教育について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>◎<u>出雲崎小学校の取組み</u></p> <p>□重点目標</p> <p>(1) 校内委員会を中核にした「個別の指導計画」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な校内委員会の開催</li> <li>・ 特別支援教育コーディネーターへの情報の集約</li> <li>・ 計画的な評価の蓄積</li> <li>・ 人材の有効な活用のための週計画の立案と実施</li> </ul> <p>(2) 保護者の願いを反映した「個別に指導計画」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者との定期的な面談</li> <li>・ 将来を見通した相談活動の実施</li> </ul> <p>(3) 関係機関や保育園、中学校との連携</p> <p>(4) 特別支援教育に関する研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校区職員による研修（夏期休業中にて開催）</li> <li>・ 児童理解の機会の設定</li> </ul> <p>◎<u>出雲崎中学校の取組み</u></p> <p>□重点目標</p> <p>(1) 職員研修等を通じて、特別支援教育に関する知識を習得</p> <p>(2) 特別支援を要する生徒の対応について見通しを持ち、取り組む</p>

▶ **概要**

学校全体で一人ひとりの児童生徒の教育的な支援を行うため、家庭と連携してきめ細かな指導に行いながら、特別支援教育の充実を図ってきた。

▶ **成果と課題**

個々の児童生徒に対して、指導計画を作成し、学期ごとに保護者と面談し、成果と課題を確認しながら、次学期の目標を設定しながら、きめ細かな取組みを行った。また全校体制で教職員の研修会も定期的実施しながら、日々の指導に役立つように進めている。

この項目について教育委員やPTA役員、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・ 目標を十分達成されている。
- ・ 大変なお仕事と思う。(人間、皆、平等です。)

- ・個人個人をよく把握し、補助職員をつけるなど、よく支援している。
- ・特別支援教育は、当町のバックアップもあり、極めて充実している。介助員の補充も充実している。
- ・特別支援教育については、教職員の熱意と姿勢が良好であり、きめ細かい指導が見られる。中学校では、キャリア教育の面で重要となる。
- ・インクルージョン教育（包括的教育）の理念を持って取り組まれている。
- ・特別支援が必要な児童生徒への対応が、一般の児童生徒への教室づくりにつながる（ユニバーサルデザイン）ことから、積極的に取り組んでほしい。

5 重点施策	学校教育「信頼に応える教育について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>□ 重点目標</p> <p>(1) 学校グランドデザインの作成について  小中学校では、学校の運営方針を明確にし、当該年度  の取組みや方策について、重点的に系統だったグランド  デザインを毎年、作成している。</p> <p>(2) 学校評価の公表について  小中学校では、設定された学校運営目標について、そ  の達成状況を把握・検証し、その結果を「学校評価」と  して公表することになっています。そのため、年2回児  童生徒及び保護者を対象にアンケートを実施して、取組  みの改善を図っています。</p> <p>(3) 非違行為防止のための指示・伝達について  町教育委員会は、毎月の校長会議や文書による通達な  どで、教職員の非違行為防止に向けた指示・伝達を行っ  ています。</p> <p>(4) 学校の情報公開について  情報公開については、学校長だより、学校ホームペー  ジを通じて常に保護者・地域町民の方への周知を図って  います。</p> <p>(5) 防災教育について  学校における防災教育や危機管理マニュアルの点検な  ど、緊急時に機能を発揮できるように、下記のとおり計  画的な訓練を実施しています。</p> <p>▶ 主な取組み</p> <p>① 緊急対応マニュアルの点検や学校施設の整備、遊具、  通学路等の安全点検の実施。</p> <p>② パソコン USB メモリーの金庫管理等、個人情報の管理  徹底</p> <p>③ 学校施設の施錠管理</p> <p>④ スクールガードボランティア（平成 23 年度末現在登録  者：12 人）による登下校時の見守り</p> <p>⑤ 下校時における一斉防災無線の広報周知（毎日実施）</p> <p>⑥ 緊急時を想定した学校避難訓練の実施</p>

	<p>(小学校) → ・ H23 年 6 月地震・火災対応訓練          ・ H23 年 9 月不審者対応訓練          ・ H24 年 1 月火災対応訓練 計 3 回実施</p> <p>(中学校) → ・ H23 年 5 月地震・火災対応訓練          ・ H23 年 10 月不審者対応訓練 計 2 回実施</p> <p>(小中学校) → ・ 10 月津波災害を想定した海岸地域の町民避難訓練に児童生徒の始めて参加</p> <p><b>(6) 学習環境・整備の充実について</b>          学習環境の向上や教育費支援の充実、安全安心で快適な学校生活が、送れるような施策を行った。</p> <p>▶ <b>主な取組み</b></p> <p>①町奨学金貸与基金運用事業の内容（基金 9,200 万円）          ・ 県外の大学・短大・専修学校 月額 5 万円の貸与          ・ 県内の大学・短大・専修学校 月額 3 万円の貸与          ・ 高等学校 月額 1 万円の貸与          ・ 平成 23 年度末現在利用者累計（新規 3 人・継続 9 人）</p> <p>②小・中学校入学祝金支給事業          ・ 小学生 1 人当たり 3 万円支給（該当者 34 人）          ・ 中学生 1 人当たり 5 万円支給（該当者 37 人）</p> <p>③小学校通学バス事業          ・ 町所有バス 1 台、運行委託バス 3 台を利用し、通学、部活、行事に参加。</p> <p>④中学生までの医療費無料化を実施</p>
--	--

## ▶ 概要

信頼に応える教育については、グランドデザイン作成や学校評価、情報公開、防災教育の取組み、学習環境の整備、充実を図ってきた。その年の重点事項を整理しながら、地域の町民から信頼される教育を進めてきた。

## ▶ 成果と課題

教育活動の柱である地域とともに歩む地域に根ざした学校経営が重要である。そのため、学校の運営方針や運営目標などを明確にしながら、かつ地域住民にその活動内容を公開して、アンケートやホームページ等を通じて、意見をいただきながら、それぞれの取組みの改善を図っていかなければならない。なかでも、防災教育については、昨年の東日本大震災の教訓から、地震や津波に対応した緊急避難訓練の重要性が叫ばれており、今後もそれに対応した避難

訓練の取組みをしていかなければならない。

この項目について教育委員やPTA役員、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・すべてバランス良く作成されている。
- ・学校の情報が身近に分かってよい。
- ・十分な施策を取っている。
- ・子ども達の未来に投資するので、とても意義がある。
- ・防災教育は、地域・町全体を含めて、きめ細かい計画実施がされている。
- ・教育費支援の充実は、素晴らしい。これからも適切な運用を望みたい。
- ・系統だって出来ている。
- ・分析と課題対応が見られる。
- ・情報の公表は、校長だより等で積極的に行われている。
- ・防災に関しては、マニュアルの整備、予防訓練など適切に行われている。
- ・学校だよりは、校内活動など分かりやすく掲載されている。
- ・町所有のスクールバスは、大変便利である。
- ・特に西越地区で人家の途切れた街灯も少ない地域があり、心配だ。
- ・景気低迷なこの時代ですので、家庭内の資金面で不安な方に大いに利用して頂きたい。今以上に周知方法を考えてほしい。
- ・検証が不足ではないか。
- ・場面場面の対応を記したマニュアルを早期に作成する必要がある。災害（発生）にはシナリオがないことを十分認識する必要がある。
- ・「防災教育」では、地震等の緊急時における「家族の迎え」について明確にしてほしい。
- ・学校のホームページの更新回数が少ないのではないか。



小学校の避難訓練の一コマ



不審者対応訓練（中学校）

# 教育目標

だれとでも仲よくする子  
すすんで学び といくむ子

# 重点目標

ひとりで みんなと さらに  
(自立) (共生) (挑戦)

平成23年度  
出雲崎小学校グランドデザイン

## 児童の願い

- ・わかる学習
- ・安心安全な生活
- ・認め、認められる人間関係
- ・活躍できる自分
- ・よく遊べる学校生活
- ・体験活動で広がる生活経験

## 保護者の願い

- ・命を尊重する
- ・学力を高める
- ・安全安心な生活
- ・豊かな心を磨く
- ・健康な体をつくる
- ・実体験で自信を付ける
- ・元気に遊ぶ

## 地域の願い

- ・地域を誇りに思う心の育成
- ・命の教育の促進
- ・心豊かな人間性
- ・健康な心と体
- ・地域に根ざした体験の推進
- ・食育、環境、国際理解、福祉、人権、情報等を充実
- ・学校・家庭・地域の連携

## 豊かな心

- <めざす姿>  
○適切に判断し、行動できる子ども
- 評価
- 児童アンケート「自分から明るい挨拶、会釈をする」の肯定的評価が80%以上
  - 児童アンケート「正しく善悪を判断して行動する」の肯定的評価80%以上

## いじめ撲滅 不登校解消

- <めざす姿>  
○楽しく生活する子ども
- 評価
- 児童アンケートの「悪口・陰口を言わない」の肯定的評価が90%以上
  - 児童アンケートの「学校は楽しい」の肯定的評価が90%以上

## 地域に根ざして 自ら学ぶ実体験活動

- <めざす姿>  
○課題を設定する力・追求する力・まとめて表現する力・生き方を見つめる力をつける子ども
- <テーマ>  
「命の教育」を柱に心を耕し、生活の知恵や技を身に付ける地域に根ざした教育活動の推進
- 評価
- 児童アンケートの「自分で課題をもち、解決の見通しを立てて活動することができた」の肯定的評価80%以上
  - 児童アンケートの「体験したことを自分の言葉で表現する」の肯定的評価が80%以上
  - 生き方について関心をもつ90%以上

## 確かな学力

- <めざす姿>  
○基礎・基本を身に付け、確実に読み取り、筋道だてて考え、書き、説明できる子ども
- 評価
- 児童アンケートの「学習ルールを守って学習できる」の肯定的評価が90%以上
  - 児童アンケートの「筋道立ててわかりやすく文章を書き、説明できるようになった」の肯定的評価が80%以上
  - NRT学力検査で53を上回る
  - 自学ほなみ賞A・B項目の取組み90%以上

## 健康・体力の向上

- <めざす姿>  
○命を大切にして、たくましい体をつくる子ども
- 評価
- 児童アンケートの「命を大切にするよう生活する」の肯定的評価が100%以上(食・交通安全・健康への取組)
  - 児童アンケートの「よく遊び、進んで運動する」の肯定的評価が90%以上
  - 児童アンケートの「早寝 早起き 朝ご飯 読書 手伝い」の肯定的評価80%以上

## 社会の願い

- 生きる力をはぐくむ学校
- 豊かな人間性の育成
- ・確かな学力
- ・豊かな心
- ・健康なからだ

## 教師の願い

- ・命の尊さを実感する子
- ・生活に生きる確かな学力を身に付けた子
- ・社会規範意識を身に付け、心豊かで思いやりのある子
- ・たくましい心と体をつくる子
- ・積極的に挑戦する子

## 教育課題

- ◇進んで学び、考える力の育成
- ◇感じる心の育成
- ◇自分から鍛えるたくましい体の育成

## 児童の実態

- 仲良く元気に遊ぶ
- 人なつこい
- 素直で純朴
- 身に付きつつある家庭学習の習慣
- △自分から挨拶
- △真剣・集中
- △自分で考え、判断して行動

## 地域に根ざした体験活動

### よく遊び・鍛える子

- ☆夢中になって遊ぶ場と時間の確保
- ・ほなみが丘、グラウンド、体育館、地域等で遊ぶ

### 支え合う子

- ☆福祉ボランティア活動の推進
- ・異年齢・福祉交流の充実
- ・保育園児との交流
- ・異学年活動の充実

なりたい自分

## 地域に根ざした体験活動

### たくましい子

- ☆食育、勤労生産活動の促進
- ・環境学習
- ・年2回以上実施の学年調理活動
- ☆地域の人々の生き方に学ぶ学習の推進
- ・地域の歴史、伝統文化に学ぶ
- ・地域の産業に学ぶ(職場訪問等)

### 環境に優しい子

- ☆共生リサイクル活動の推進
- ・空き缶・廃油・ペットボトルの回収
- ・生ゴミのリサイクル化
- ・電気・ガス・水の節約

たのしい学舎

平成23年度 出雲崎中学校グランドデザイン

教育目標  
豊かな心（徳）たくましい実践（知）（体）

地域や保護者の願い

生徒の実態

・素直で、やさしく、活発な人間に育つことを望んでいる。  
・古くからある歴史、文化を理解し、出雲崎町に誇りをもち、将来出雲崎町のために尽くす人間に成長して欲しい。  
・個人として自立し、自ら判断し、行動できる人間になって欲しいと願っている。

・素直で明るく素朴である。  
・より向上しようとする意欲に欠ける面がみられる。  
・授業態度は良いが、自学の習慣が身に付いていない。  
・郷土の自然や文化への関心が薄い。

23年度の重点課題  
学力の向上（知）

年度の重点目標 = 育てたい生徒の姿  
たくましい実践（知）意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒（体）目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒（徳）お互いを思いやる、心優しい生徒

年度の達成目標・努力事項

お互いを思いやる、心優しい生徒	意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒	目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
<ul style="list-style-type: none"> <li>○規範意識の育成と信頼関係の構築</li> <li>○自らを律する生活態度と公正な判断力の育成による思いやりのある学級風土づくり</li> <li>○積極的に集団と関わり、自分の役割をすすんで果たそうとする生徒の育成</li> <li>○人権教育・同和教育を中心とした心の教育</li> <li>○地域や家庭との連携を重視した行事や体験活動の実施による心の教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小テスト等での基礎的な知識・技能の徹底</li> <li>○Webテストを活用しての復習の徹底</li> <li>○学びの連続性の保持（既習事項と関連づけた学習、家庭学習への連続）</li> <li>○少人数での言語活動を取り入れた授業の計画的な実施</li> <li>○伝えようとする意志や力を育てる総合的な学習の時間の取組</li> <li>○学びへの意欲につながる勤労観・職業観の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的・継続的な体力テストの実施</li> <li>○集団の規律を高めながら、目標に挑戦する部活動の充実</li> <li>○自己管理を大切に健康教育の推進</li> <li>○バランスの良い食習慣の確立</li> <li>○「早寝・早起き・三度の食事」という生活リズムの確立</li> </ul>

◇=成果 ○=教育活動 ☆=運営活動

<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 1 学級はよい友達関係で安心して過ごせると実感している生徒の割合が高くなる。</li> <li>◇ 2 人に頼らず自分のことは自分でできる生徒の割合が高くなる。</li> <li>◇ 3 自分の役割を進んで果たし、集団への貢献を自覚できる生徒の割合が高くなる。</li> <li>◇ 4 相手の立場を考えて行動している生徒の割合が高くなる。</li> <li>◇ 5 奉仕活動後のアンケートで充実感を味わった生徒の割合が高くなる。</li> <li>○ 1 ソーシャルスキルトレーニングや道徳の授業を通して人間関係について考えたり身に付けたりする。</li> <li>○ 2 清掃などの当番活動に、自分からすぐに取りかかる。</li> <li>○ 3 清掃などで、自分から仕事を見つけて時間いっぱい取り組む。</li> <li>○ 4 校外活動で、相手の立場に立って話をしたり行動したりする。</li> <li>○ 5 生徒会が企画した奉仕活動に積極的に参加する。</li> <li>☆ 1 いじめ学習プログラムに沿って、年5回の生徒の意識調査を実施する。</li> <li>☆ 2 清掃などの当番活動で、生徒の主体的な取組を点検し、互いに認め合う場面を設定する。</li> <li>☆ 3 校外活動の前に適切な事前指導を行う。</li> <li>☆ 4 奉仕活動の事前事後指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 1 5教科×3学年＝15教科のうち、12教科で全国平均を上回る。</li> <li>◇ 2 授業で学んだことを少人数での言語活動を通して補充・深化することができる。</li> <li>◇ 3 総合的な学習で生徒アンケートで伝えたい内容を明確にできたとする生徒が70%以上になる。</li> <li>◇ 4 進路に関する体験において、各学年で段階的に設定した目標を達成した生徒が90%以上になる。</li> <li>○ 1 授業の始めに前時に習ったことを思い起こす。</li> <li>○ 2 自分が分かったこと、考えたことを友達と意見交換できる。</li> <li>○ 1 宿題等の取組を通して学習を習慣化させる。</li> <li>○ 3 活動の振り返りや自己評価をすることによって、次の見通しをもつ。</li> <li>○ 4 訪問や交流の前に立てた目標を達成する。</li> <li>☆ 1 毎時間、授業で前時の学習内容を確認する。</li> <li>☆ 2 Webテストを活用して定着度を確認する。</li> <li>☆ 3 単元の中で、少人数の言語活動を取り入れる。</li> <li>☆ 4 単元のまとまりごとに宿題を出す。</li> <li>☆ 5 各学年の実態や活動内容に即した活動記録用紙を準備し、授業で活用する。</li> <li>☆ 6 訪問や交流の準備からまとめまできめ細かく丁寧に進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 1 新体力テストで、個々の合計得点が全国平均を上回る。</li> <li>◇ 2 運動に親しみ、自分の体力に向上が見られる。</li> <li>◇ 3 6～8時間の睡眠時間を確保できる生徒を増やす。</li> <li>◇ 4 バランスの取れた朝食を摂取して登校する生徒を増やす。</li> <li>○ 1 授業で行う体力トレーニングを質量ともに高い目標をもって行う。</li> <li>○ 2 部活に目標をもって意欲的に取り組む。</li> <li>○ 3.4 よりよい生活習慣を目指して、元気UP週間に取り組む。</li> <li>○ 3.4 元気UP習慣期間中に、各学級でショート保健指導を実施する。</li> <li>☆ 1 新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人に目標をもたせたトレーニングを行う。</li> <li>☆ 2 定期的に部活顧問会を開催する。</li> <li>☆ 3.4 元気UP週間の取組の状況を、職員・保護者に知らせる。</li> <li>☆ 3.4 学校保健委員会を1回開催し、生活習慣の問題について、当校の問題点や改善策について話し合う。</li> </ul>
---	---	--

年間2回の評価サイクルによる評価の実施

学校評価（内部評価・外部評価・学校関係者評価）

評価結果の公表（保護者、地域）

次年度の課題・改善へ

6 重点施策	学校教育「学校・家庭・地域の連携充実について」
<p>➤ 取組みの状況</p>	<p>➤ 主な取組み</p> <p>①町学校支援地域本部事業（H20 年度から 4 年目）</p> <p>出雲崎小学校→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 年生：生活「さつまいも収穫活動」</li> <li>・ 2 年生：生活「さつまいも収穫活動」</li> <li>・ 3 年生：総合・社会「民話、校外学習活動」</li> <li>・ 4 年生：総合・道徳「じゃがいも収穫、人権授業」</li> <li>・ 5 年生：総合・音楽「稲栽培・収穫、音楽祭参加」</li> <li>・ 6 年生：総合「職場体験授業」</li> <li>・ その他：文化祭時に児童、保護者全員参加のカレーライス試食会の開催</li> </ul> <p>出雲崎中学校→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 年生：「良寛史跡巡り」</li> <li>・ 2 年生：「職業体験活動（町内の事業所、店舗）」</li> <li>・ 3 年生：「切り絵、ようこそ先輩、薬物乱用防止指導」</li> </ul> <p>②学校ボランティア活動事業(H23 年延べ 500 人超が参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理関係、畑作業、学校安全パトロール、読書読み聞かせ、</li> <li>・ 歴史、街並ガイド、ふるさとクラブ 等々</li> </ul> <p>③第 5 回未来の夢子ども体験講演会 (10 月 26 日/水：惑星探査機はやぶさ技術者細田聡史氏による講演会)</p> <p>④小学生俳句教室 (4・5・6 年生を対象に各学年で年 4 回開催)</p> <p>⑤第 1 回文化芸術鑑賞教室 (9 月 21 日/水：狂言鑑賞会に小中学生、一般町民が参加)</p> <p>⑥第 4 回子育て教育講演会 (11 月 12 日/土：落語鑑賞会に小中学生、一般町民が参加)</p> <p>⑦第 3 回良寛の心書道展 (9 月 10 日/土～19 日/月まで作品展示会：小中学生参加)</p>



## ▶概要

学校・家庭・地域の連携のなかで地域と歩む特色ある学校づくりを推進してきた。学校支援地域本部事業については、本年度で4年目に入り、様々な取組みをしながら、成果を上げてきた。その他、学校ボランティア活動や未来の夢講演会も、年々好評であり、文化芸術鑑賞会や子育て講演会など、特色ある事業を展開してきた。

## ▶成果と課題

学校支援本部事業では、各学年で取組みの内容を検討しながら、実施しているが、多くの町民の方々からボランティアに参加していただき、まさしく学校を地域みんなで盛り上げてきている。また未来の夢講演会や俳句教室、文化芸術鑑賞会など、年々、事業内容の充実を図りながら、感性豊かな心の教育を今後も進めていきたい。

この項目について教育委員やPTA役員、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・食育の意味も含めてとても良い。
- ・町内の企業を知り、社会を知ることは、とても貴重だ。
- ・テレビでしか見たことがないものをライブで鑑賞できることは、とてもよい。
- ・地域の特色や人材をうまく活用し、極めて充実している。
- ・狂言鑑賞、落語鑑賞は、新鮮な内容であった。
- ・学校、家庭、地域の一体的な取組みが積極的になされている。地域の教育に対する熱心な姿勢が感じられる。
- ・学校支援地域本部事業において、小学校の各学年が目的を持って取り組んでいることは、大変感心する。中学校2年生の職場体験は、お金を稼ぐ大変さを実感できる良い事業である。
- ・小中学校支援本部事業のお陰で、毎年ボランティアの参加も増え、地域と学校のかかわりが強くなっている。また地域の先生の存在は、子ども達にとっても大変大きなものになっている。地域のボランティアの方々も張り合いとなっている。
- ・文化芸術鑑賞会は、今年度初めての試みであったが、狂言体験にも子ども達が積極的に参加するなど、好評であった。来年度以降も様々な芸術に触れてもらい、子ども達の感性が豊かに育つための一助としたい。
- ・地域の皆様との交流による実社会での体験と、つながりを継続し続けていくことで、地域の絆の輪を広げたい。
- ・自分のふるさとでもある地域の実態や歴史を理解することは、大切なことであり、地域の方々のご協力をお願いしたい。
- ・私たちの住んでいる町は人口も少なく小さな町であるが、児童の皆さんには、素晴らしい体験をさせたいとの思いで、講演会等を行っている。今後とも、

予算がかかっても継続願いたい。

- ・体験活動は、子どもの生活意欲や社会性を育てる大きな力となるはずで、計画の段階と事後の指導が極めて重要である。従って、ねらいを明確に質の高いものを設定すべきである。



狂言鑑賞会の一コマ



子育て教育講演会（落語鑑賞会）

7 重点施策	社会教育「生涯学習の充実について」
<p>➤ 取組みの状況</p>	<p><b>1 生涯学習・公民館事業の充実について</b></p> <p>➤ 主な取組み</p> <p>① 青少年教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ めばえ教室 (1歳から3歳児対象：年間17回開催、延べ82組が参加)</li> <li>・ 出雲崎ッズ (小学生1年から6年生対象：年間9回開催、延べ73組が参加)</li> <li>・ 新潟連携公開講座「読み聞かせのススメ」(新規) (事業主体：新潟県、6月開催、親子28組参加)</li> <li>・ 子育て教育講演会 (11月開催、落語鑑賞100組参加)</li> </ul> <p>② 成人教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出雲崎総合大学 (年間15回開催、文化等3コース、延べ365名参加)</li> </ul> <p>③ 町民文化教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコン教室 (延べ14回開催、ワード等3コース、延べ121名参加)</li> <li>・ 料理教室 (年間3回計画、1回目8名 2回目8名参加)</li> <li>・ 英語教室 (保育園年中・年長児対象：月2回開催)</li> <li>・ ガーデニング教室 (年間8回開催、延べ104名参加)</li> </ul> <p><b>2 図書館事業の活動について</b></p> <p>➤ 主な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児への絵本贈呈 (21組×2冊=42冊贈呈)</li> <li>・ 親子文庫 (2冊×12セット×4学年[2～5年生]=96冊配布)</li> <li>・ 除籍図書 of 無料配布 (生涯学習フェスティバル時において812冊を無料配布)</li> <li>・ 海公・中公図書室の環境整備 (本棚2台、電気スタンド14台を設置)</li> </ul>

	<p>▶<b>図書館（海公・中公）の利用データ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H21 年度：2,071 人（海公 1,286 人・中公 785 人）</li> <li>H22 年度：1,922 人（海公 1,242 人・中公 680 人）</li> <li>H23 年 12 月末：1,329 人（海公 946 人・中公 383 人）</li> </ul> </li> <li>・貸出冊数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H21 年度：3,250 冊（海公 2,134 冊・中公 1,116 冊）</li> <li>H22 年度：3,150 冊（海公 1,892 冊・中公 1,258 冊）</li> <li>H23 年 12 月末：2,093 冊（海公 1,438 冊・中公 655 冊）</li> </ul> </li> <li>・蔵書数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H21 年度：38,118 冊（海公 18,576 冊・中公 19,542 冊）</li> <li>H22 年度：38,435 冊（海公 18,778 冊・中公 19,657 冊）</li> <li>H23 年 12 月末：38,578 冊（海公 18,800 冊・中公 19,778 冊）</li> </ul> </li> <li>・図書リクエスト数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H21 年度：15 件</li> <li>H22 年度：41 件</li> <li>H23 年 12 月末：50 件</li> </ul> </li> </ul>
--	--

### ▶**概要**

生涯学習や公民館事業については、青少年、成人向けに分けて事業展開をしてきた。特に出雲崎総合大学としては、理科などコース別に講座を開設しながら、事業の特色を出して受講者の増加を図ってきた。

また図書館事業では、館内の展示方法や備品の整備などを進めながら、利用者の増大を図ってきた。

### ▶**成果と課題**

今年度、青少年教育事業のなかで、新潟県の事業主体の公開講座「読み聞かせのススメ」と題して講演会を新規で開催された。本に関心のある親子が多く参加していただき、盛会であった。図書館事業も国の交付金により備品の整備や新刊図書を増やししながら、町民が本とのふれあう機会を増やししながら、豊かな生活を送れるよう図書環境を今後も整備していきたい。

この項目について教育委員や学校関係者の主な感想は、次のとおりである。

- ・ニーズに応じたきめ細かい学習が、開設されている。
- ・公民館だよりで新刊図書の紹介が、拡充されたことはよい。
- ・「親子文庫」は、ありがたい。
- ・「子育て講演会」は、めったに聴けない寄席のもつ楽しさの一部を紹介しても

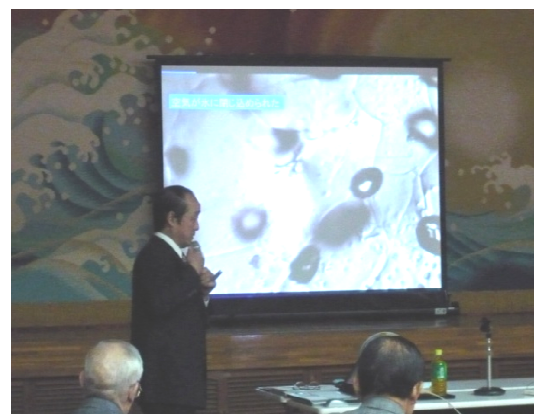
らい、大変楽しい時間を過ごすことができました。ただ、保護者の参加が少なく残念でした。

- ・出雲崎ZZは、参加者からおおむね好評を頂いている。ただ今年度は人数不足で中止など全体的に人が集まらないことが多かったので、開催日時を検討したい。
- ・親子文庫は、とても好評である。他にはない事業なので、このまま続けたい。
- ・無料配布は、好評であり、スペースの都合上蔵書の整理をしなければならないため、これからも継続したい。
- ・めばえ教室は、参加対象となる親子が積極的に参加してくれたが、年々対象者が減少している。対象年齢を下げるなどして、参加者の増加を図りたい。
- ・読み聞かせ講座は、子どもの参加し新しい形の講演会で、出席者からも満足いただいた。
- ・高齢化社会での豊かで安らかな生活の場としての出雲崎町として、長寿社会のお手本を目指すこと。
- ・生涯学習の目的から大切な事業と思う。今後とも充実した総合大学をお願いしたい。
- ・大勢の人々から利用してもらっている。日々に充実した生活を送るためにも継続してもらいたい。
- ・とても有意義なことで、これからも継続してほしい。また若い人達も多く参加してほしい。
- ・駅方面にも簡易図書があるとありがたい。
- ・冬期は、なかなか外出できないので、図書巡回バス等があると良い。
- ・地域的な事業であって利用者が、今一步のような気がする。
- ・マンネリ化を除去し、住民の意識、要望を把握することも大切である。
- ・ボランティアを活用した活動は考えられないだろうか。
- ・「めばえ教室」は、親としての自覚の高まりと不安の解消のためにも、ぜひとも重視してやってもしい。幼児期の安定した子育ては、青少年期に大きな影響を及ぼす。
- ・「子育て講演会」は、親子で楽しめるものとしてよい内容である。
- ・「子育て講演会」は、保護者の参加がもう少し多いとよい。
- ・「子育て講演会」は、子育ての参考にということになると内容の吟味が必要である。
- ・「子育て講演会」の講師選定が難しい。
- ・「子育て講演会」は、保護者の意見を伺いながら、改善していきたい。
- ・図書館の利用者のうち、子ども（小学生）の利用はどのくらいか。
- ・教員からは、「寄席はおもしろかったが、授業がつぶれるのは痛い」との声あり。
- ・総合大学は、昨年度より多くの方が積極的に参加してもらえた。メンバーはやや固定化しているので、新規者への呼びかけをしたい。

- ・パソコン教室は、今年度機器を入れ替え初めての方を対象とした教室を行なった。アンケートを見ると満足する人もいたが、高いレベルを求める方も多いため、来年度はもう少しレベルの高いコースも用意したい。
- ・料理教室は、小学生も参加するなどすそ野が広がった。来年度は、色々な人が参加してもらえるようにしていきたい。
- ・ガーデニング教室は、毎回参加者が多く、積極的に協力するなど生涯学習の教室として着実に成果を上げている。来年度以降も参加者が自主的に動くような教室にしたい。
- ・英語教室は、子ども達が英語を母語とする人と触れ合う機会を作ったことは、これから英語を学ぶ上で大きな助けになると思う。ただ保育園のカリキュラムとの兼ね合いもあるため、授業時間・回数など検討していきたい。
- ・絵本贈呈は、おおむね好評である。ブックスタート事業で紹介した本を図書館に置き、配布会場に持っていくなどして、子ども達が多くの本に触れられるようにしたい。
- ・図書室の環境整備については、本棚、スタンドの増設、新着コーナーの拡大、蔵書の分類・整理など、利用しやすくなるための工夫を行なった。県や他市町村の図書館を参考にするなどして、より一層のサービスを充実させたい。



ガーデニング教室



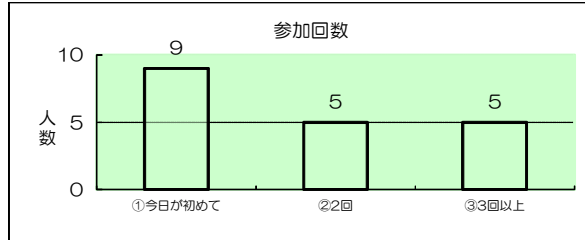
総合大学（地学・環境講座）

# 平成23年度ガーデニング教室・アンケート結果

平成23年12月17日実施  
参加者21人中19が解答

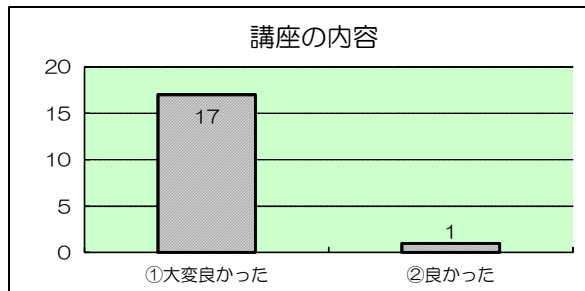
## (1) 参加回数について

①今日が初めて	9
②2回	5
③3回以上	5
有効回答数	19



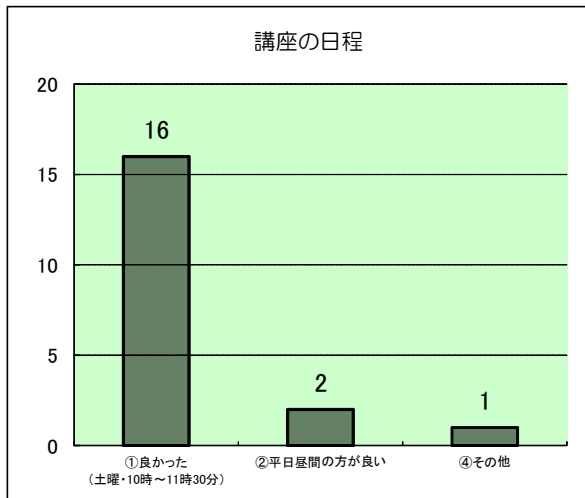
## (2) 今回の講座の内容について

①大変良かった	17
②良かった	1
③あまり良くなかった	0
④悪かった	0
⑤どちらとも言えない	0
⑥その他	0
有効回答数	18



## (3) 講座の日程について

①良かった (土曜・10時~11時30分)	16
②平日昼間の方が良い	2
③平日夜間の方が良い	0
④その他	1
有効回答数	19

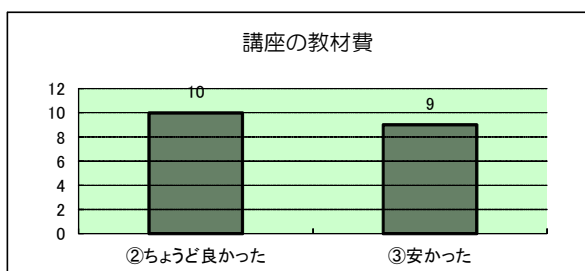


## (希望された時間について)

②と解答された方	9:30~ (1名)、10:00~ (1名)
③と解答された方	
④と解答された方	もう少し時間が長いほうがいい

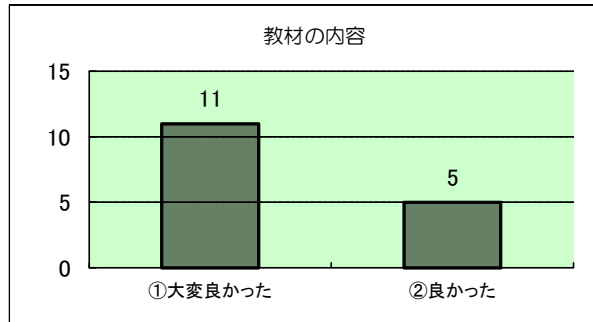
## (4) 今回の講座の教材費について

①高かった	0
②ちょうど良かった	10
③安かった	9
④その他	0
有効回答数	19



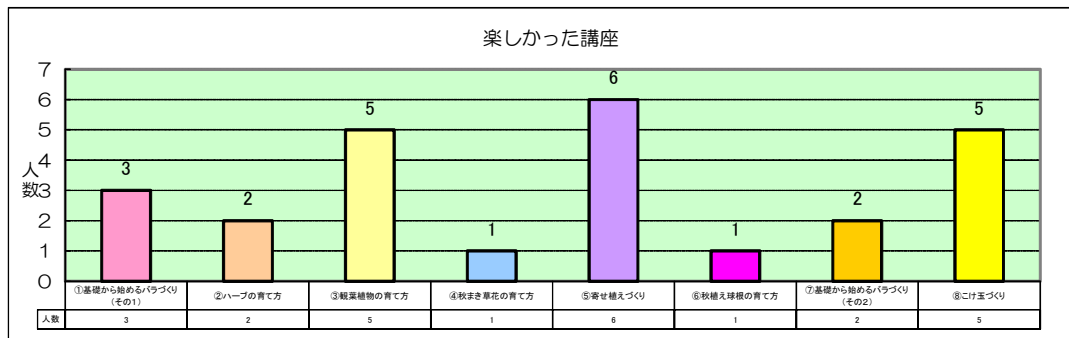
(5) 教材の内容について

①大変良かった	11
②良かった	5
③あまり良くなかった	0
④悪かった	0
⑤どちらとも言えない	0
⑥その他	0
有効回答数	16



(6) 楽しかった講座（2回以上参加された方への質問）※複数回答可

①基礎から始めるバラづくり（その1）	3
②ハーブの育て方	2
③観葉植物の育て方	5
④秋まき草花の育て方	1
⑤寄せ植えづくり	6
⑥秋植え球根の育て方	1
⑦基礎から始めるバラづくり（その2）	2
⑧こけ玉づくり	5



(7) 今後のガーデニング教室で希望すること、意見・要望

- ・被災してきていてこのような行事に参加できありがとうございます。砂山先生優しく教えていただきました。
- ・あまり植物を育てるのに自身がないため、簡単そうな今回を受講してみました。とても楽しくできたので、次回は第1回から参加してみたいです。
- ・毎回楽しみに待っています。
- ・秋まき草花の育て方、特に種まきを少し早めの時期に
- ・楽しかったのでまた参加したいです。先生も親切でとてもやさしかったです。ありがとうございました。
- ・実のなる木の話など

(8) 公民館で実施して欲しい講座や教室

- ・来年もぜひガーデニング教室の開催を希望します。大変楽しかったです。
- ・また考えます、今は思いつきません。
- ・今後も続けてほしいと思います。
- ・手芸

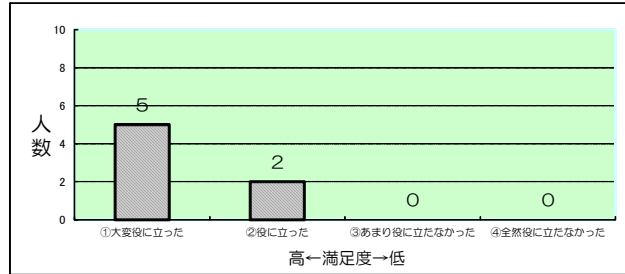


# 平成23年度パソコン教室アンケート（年賀状コース）

平成23年11月11日実施  
参加者8人中7人が解答

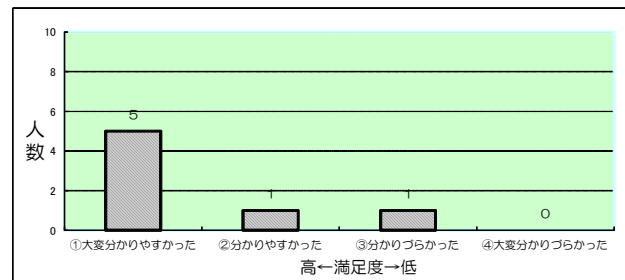
## 1. 講座の内容に関して

①大変役に立った	5
②役に立った	2
③あまり役に立たなかった	0
④全然役に立たなかった	0
有効回答数	7



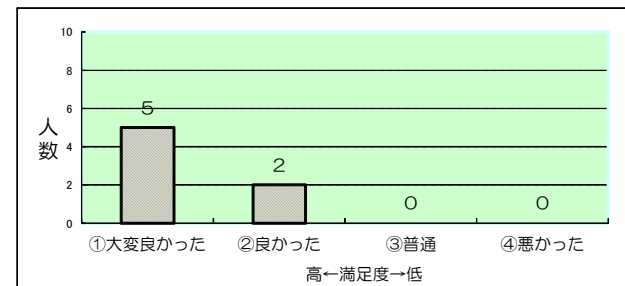
## 2. テキストに関して

①大変分かりやすかった	5
②分かりやすかった	1
③分かりづらかった	1
④大変分かりづらかった	0
有効回答数	7



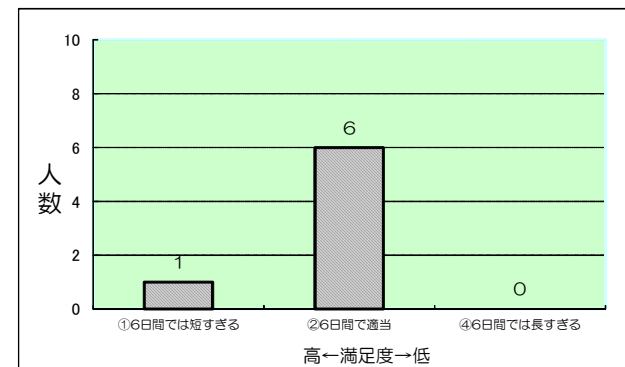
## 3. 講師の対応に関して

①大変良かった	5
②良かった	2
③普通	0
④悪かった	0
有効回答数	7



## 4. 講習時間に関して

①6日間では短すぎる	1
②6日間で適当	6
④6日間では長すぎる	0
有効回答数	7



5. 講習時期に関して

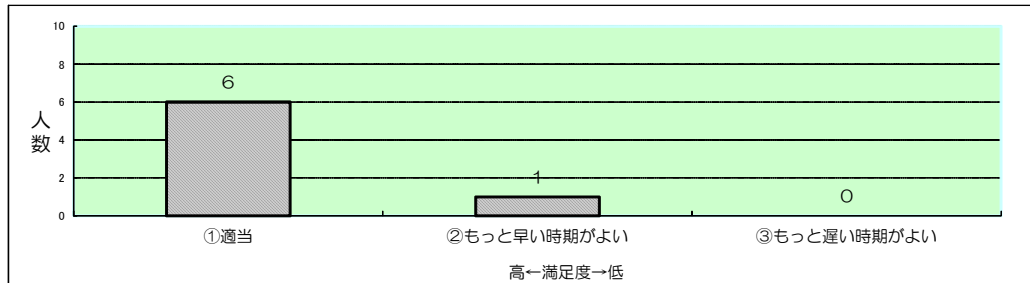
(希望する時期について)

① 適当	6
② もっと早い時期がよい	1
③ もっと遅い時期がよい	0
有効回答数	7

・「もっと早い時期がよい」と解答した方

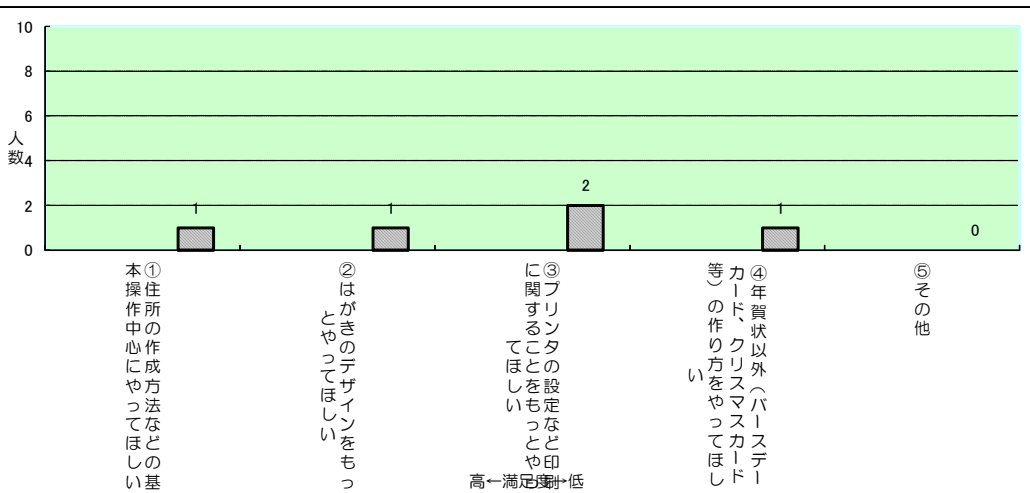
10月

・「もっと遅い時期がよい」と解答した方



6. 今後どんな年賀状コースを希望するか (複数回答)

① 住所の作成方法などの基本操作中心にやってほしい	1
② はがきのデザインをもっとやってほしい	1
③ プリンタの設定など印刷に関することをもっとやってほしい	2
④ 年賀状以外 (バースデーカード、クリスマスカード等) の作り方をやってほしい	1
⑤ その他	0



7. その他要望 (自由解答)

- ・新しい機種で良かったです。印刷レイアウトをその都度見てみたいです。
- ・わかりやすく良かったです。
- ・講師の方、大変ありがとうございました。

8 重点施策	社会教育「歴史・文化の振興について」
<p>➤ 取組みの状況</p>	<p><b>1 文化・芸術事業の推進について</b></p> <p>➤ 主な取組み</p> <p>① 町文化財調査審議会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議年 3 回、委員研修会年 1 回</li> <li>・ 先進地視察研修（11 月 29・30 日長野県方面）</li> </ul> <p>② 東京藝術大学生招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 月 26 日/火から 7 月 29 日/金まで合宿し、日本画科 3 学年の 8 名が参加</li> <li>・ 小学 5 年生・中学 3 年生に写生教室として絵の指導</li> </ul> <p>③ 街並スケッチ画展示会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 8 日/土から 10 日/月まで町民体育館を会場に全作品 346 点を一堂に展示、延べ 190 名が来場。</li> </ul> <p>④ 第 7 回良寛さんの心書道展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生から中学生まで 306 点応募あり</li> <li>・ 9 月 10 日/土から 9 月 19 日/月まで講堂を会場に全作品を一堂に展示、延べ 200 名が来場。</li> </ul> <p>⑤ 文化・芸術体験事業（狂言鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 月 21 日/水、会場：町民体育館、延べ 300 名が来場</li> </ul> <p>⑥ 第 3 回生涯学習フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月 2 日/水から 3 日/木まで町民体育館と講堂を会場に作品展示（個人 21 名・団体 12 組参加）、ステージ発表（個人・団体 19 組参加）があり、延べ 2,000 名が来場。</li> </ul> <p>⑦ 二松学舎大学書道部合宿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月 6 日/土から 8 月 8 日/月まで 教授・学生 30 名が来町</li> <li>・ 8 月 7 日/日 源川進教授の「良寛の書」講演会開催し、約 40 名が出席。</li> </ul> <p>⑧ 文化財保存団体の保護活動への補助</p>

	<p>・小木ノ城城跡史跡保存会、滝谷薬師保存会、出雲崎代官所獄門跡保存会</p> <p><b>2 歴史事業の推進について</b></p> <p>➤主な取り組み</p> <p>①出雲崎宝もの新発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3カ年の事業計画の1年目</li> </ul> <p>(集落等から91件の届け出あり：H24. 1. 1現在)</p> <p>②小木ノ城史跡看板設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小木ノ城山頂に設置、樹脂疑木サイン看板</li> </ul> <p>(縦1m・横2.18m)</p>
--	---

### ➤概要

文化・芸術事業については、藝大生の街並スケッチ画招致事業をはじめ、狂言鑑賞の芸術体験事業、生涯学習フェスティバル等など、特色ある取り組みがなされた。また、平成23年度から始めた出雲崎宝もの新発見事業については、新規の取り組み事業であり、町民の皆様様に事業内容の周知に努めながら、宝ものと思われるものの届け出の拡大を図ってきた。

### ➤成果と課題

本町には、由緒ある歴史的、文化的な施設が数多くあり、町の特色を生かした事業を展開してきた。中でも、宝もの新発見事業については、初めての事業であり、町民の意識を高め協力してもらわなければ、発展しない取り組みであり、今後も事業のPRに努めていく必要がある。

また、大学の合宿では、二松学舎大学のように本町との何らかのつながりをもった大学の合宿についても、大切にしていきたい。

この項目について教育委員、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・文化財調査審議会委員からは、積極的にさまざまな文化財事業に参加してもらっている。
- ・町外からの様々な分野の専門家の方々との出会いは、大いに刺激になる。知識が広がって大変、好ましいことである。
- ・「良寛さんの心書道展」は、出雲崎の生徒の書道の腕前には、驚くべきものがある。地域の働きかけによるものであり、書道展も生徒にとって良い刺激になっている。地域行事として、定着していて良い行事だ。
- ・分からないお宝を発掘するのは、良いことだ。観光に役立てればよいと思う。

- ・出雲崎宝もの新発見事業に期待する。
- ・各事業とも念入りな計画と実践がなされ、来訪者より感謝の気持ちが聞こえている。
- ・歴史ある当町の文化を後世に受け継ぐ資質と誇りを持って地域づくりをやっ  
てもらいたい。
- ・宝もの内容を年度末の広報紙で紹介してはどうか。どんな物が宝ものなのか  
理解してもらえらると思う。
- ・街並と良寛の町で、今年大学書道部が、合宿に来町してくれたので、継続し  
てほしい。
- ・また、多くの書道部と良寛を通じて交流ができることを期待している。
- ・宝もの事業の2年目が一番肝要である。
- ・「東京藝大生招致事業」は、小学生との交流の場があり良かった。ていねい  
に指導してくれる学生が多く、子ども達は参考になった。来年は高学年中心  
に夏休み前に呼びかけたいので、日時は早目に決定してほしい。
- ・「東京藝大生招致事業」は、出雲崎の特徴ある街並を知り、描くよい機会だ。  
来年度からは、中1年生が「出雲崎調べ」の一環として取り組みたい。
- ・文化・芸術体験事業は、準備や打合せ等大変だったと思うが、狂言の基本の  
一部を紹介してもらい、体験もでき楽しい時間を過ごせた。
- ・「東京藝大生招致事業」は、今年度院生ではなく学部生の参加であったが、子  
ども達との触れ合いや様々なイベントを行なった。より多くの学生達から来  
てもらい、スケッチ画を残してもらえるよう工夫をこらしたい。
- ・街並スケッチ画展は、一堂に展示した企画展であったが、訪れた人たちから  
は、好評を頂いた。以後、同様の催しを行う時は今回の経験を生かしてより  
一層に展覧会にしたい。
- ・書道展は、ほぼ全校児童生徒からさんかしてもらい、毎年行うことで書道の  
レベルが上がり、「良寛の書」への意識も高まっている。
- ・スケッチ画展や書道展は、出雲崎特徴的なものなので、継続参加したい。小  
学校では、講師を招き、習字を重点的に学習する良い機会となっている。
- ・文化芸術体験は、初めての事業であったが、一般の方もプロによる芸術に触  
れることができ、大変良かった。
- ・狂言鑑賞は、子ども達にとっても楽しめる内容でした。説明がわかりやすかった。
- ・生涯学習フェスティバルは、多種多様な発表があり、楽しめた。発表時間の  
遅れが少しずつ改善されてきている。小学校金管部の発表のよい機会だ。
- ・生涯学習フェスティバルは、年々参加者が増え、この日のために練習を重ね  
る張り合いができ、サークル活動の活性化にも役立っている。もう少し他の  
イベントとの開催に工夫して、時間配分を検討したい。
- ・二松学舎大学書道部合宿は、どの時間帯にどのような参加形態で参加してよ  
いのか分からず、子ども達への広報が十分ではなかったことを学校として反  
省。学校も主催者も次年度、夏休み中に行われる企画、行事等の一覧表を作

成し、そのいずれかに参加の呼びかけをして、人数等を把握しておくとよい。

- 二松学舎大学書道部合宿は、一部生徒が参加させてもらいましたが、よい刺激を受けた。
- 文化財の保存は、町からの補助により町が関わることで保護活動への意識が高くなっている。
- 宝もの新発見事業は、良い企画だ。
- 宝もの新発見事業は、町民から地域の残したい「宝もの」があるということの意識付けに多いに役立っていると思うが、事業への関心が地域によって差があるので、もっと啓発が必要である。



二松学舎大学書道部の合宿風景



生涯学習フェスティバルの一コマ

## 平成23年度生涯学習フェスティバルアンケート結果

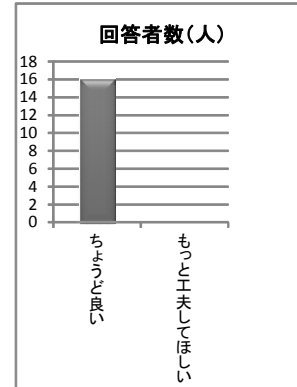
回答率73%(16人/22人)

### 1. 作品展について、配置、展示時間等についてご意見をお聞かせください。

回答	回答者数(人)
ちょうど良い	16
もっと工夫してほしい	0

#### 参考意見

- ・もみじの飾りが印象的でした。
- ・茶席の会場設営をしていただいて有りがたかった。自分たちで出来るものはやったが、パネルの設置と幕は難しい。
- ・茶席は、午前中は参加者で混雑したが、午後は良好でした。
- ・大変良かった。

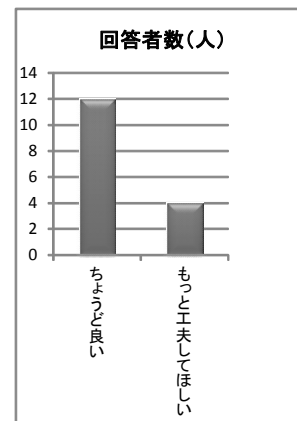


### 2. ステージ発表で、時間、進行、照明・音響等についてご意見をお聞かせください。

回答	回答者数(人)
ちょうど良い	12
もっと工夫してほしい	4

#### 参考意見

- ・舞台上の照明が踊っていて暗かった。もう少し、明るくして欲しかった。見ていた人も顔などがよく見えなかったとの事です。
- ・今年の照明、音響は大変素晴らしかった。大きな劇場みたいでした。
- ・終わりの時間が少し遅くなりすぎたのでは？
- ・ライトのスタンドが演技するのに邪魔でした。
- ・演技開始の準備が出来ていないのに音楽が始まってしまった。音楽担当者との連絡の取り方に工夫が必要だ。
- ・来年度はぜひ、舞台監督の配置をお願いします。舞台上の進行と司会は、分けないと大変かと思ます。
- ・前日にリハーサルが出来たらいいなと思いました。音響、証明を含めてのリハーサルは大変ですので、舞台上の転換があるような団体と舞台監督との打合せが出来たらいいとおもいました。
- ・控室が廊下だと園児がざわついて保護者への伝達も不十分。控室があったほうがいい。
- ・司会、進行(曲、団体名等の紹介)がとても良かったです。
- ・ステージへの出入り口が狭い。ステージの野球場側についてたなどをして出入り口を二ヶ所作り、一方通行にして出入の混乱ロスを省くなど、工夫が必要。

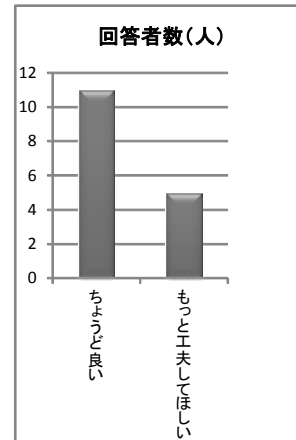


3. その他の催しについてバランス、内容等についてお聞かせください。

回答	回答者数(人)
ちょうど良い	11
もっと工夫してほしい	5

参考意見

- ・シュークリームは1時間で180個完売でした。米粉の試食品もなくなったそうです。障がい者が職人と一緒につくっていることも住民の方に少しお伝えできたかと思います。来年度以降もぜひ、このようなチャンスをお願いします。
- ・町民ウォーキングは障がい者の方も、地域住民と一緒に楽しめる企画でしたので、大変良かったです。同じ時間と空間で過ごすことが、理解の一步と考えております。
- ・交通安全教室の参加において、園児がはしゃいで話しが聞けず、安全協会の皆様にご迷惑をおかけしたようです。保護者の参加もありよい機会と思ったのですが、同日の実施は難しいようでした。
- ・農産物の販売の場所が入口だったので混雑していた。
- ・交通安全教室は希望参加と聞いていたが、半分強制的に部屋に入れられてしまったので、保護者で少しくレームがあった。



4. 参加して感じたこと、ご意見、ご要望など、どんなことでも結構ですでお聞かせください。

- ・2日の日に、入居者(出雲崎グレートヒルズ)の方に見てもらいました。他に見に来られている方が少ない時間帯だったので、ゆっくり見せていただきました。作品が丁寧に飾られていて良かったと思います。
- ・ステージ発表後のすぐの片付けは良かった。
- ・時間が後半にいくなつて遅れていった。出入を含めてチームの持ち時間を決めるか、チームの時間がどのくらい必要かあらかじめ聞いておくのとプログラムの時間が決めやすいのではないかと。チームとしても集合時間を決めるのに都合が良い。
- ・駐車場が混んでいて車を止められなくて困りました。



9 重点施策	社会教育「体育・スポーツ活動の振興について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>▶ 主な取組み</p> <p>① 町内大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第 31 回町民ソフトボール大会 9 チーム 104 名参加</li> <li>○ 第 33 回町民バレーボール大会 6 チーム 61 名参加</li> <li>○ 第 30 回町民ゲートボール大会 11 チーム 79 名参加</li> <li>○ 第 5 回町民ウオーキング 39 名参加</li> <li>○ 第 22 回町民ソフトバレーボール大会 12 チーム 92 名参加</li> <li>○ 第 25 回屋内ゲートボール大会 11 チーム 77 名参加</li> <li>○ 第 31 回町民バトミントン大会 7 チーム 56 名参加</li> </ul> <p>② スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ わんぱく水泳教室 延べ 152 名参加</li> <li>○ 柔道教室 継続中</li> <li>○ 剣道教室 継続中</li> <li>○ 柔剣道昇級審査会 17 名参加</li> </ul> <div data-bbox="903 730 1337 976" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">町民バレーボール大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ さわやかスポーツ教室 継続中</li> <li>○ 小学校スポーツチャレンジ教室 (サッカー延べ 427 名 ・バレーボール延べ 59 名・バスケ継続中)</li> <li>○ スキー&amp;スノーボード教室 32 名参加</li> </ul> <p>③ 体力づくり事業 (会場：トレーニング室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講習会 年 2 4 回開催</li> <li>○ トレーニング教室 継続中</li> </ul> <p>なお、施設開設以来、約 12 千人の方が利用された。</p> <p>④ スポーツ推進委員事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県スポーツフェスティバル (ラージボール卓球大会) 17 チーム 106 名参加</li> <li>○ 県スポーツフェスティバル中越地区大会 (ラージボール卓球大会) 11 チーム 69 名参加</li> </ul> <p>⑤ 柳津町とのスポーツ交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 15 日/日 野球・卓球交流試合開催 (会場：柳津町、なお野球は天候不順のため中止となる。)</li> </ul>

## ▶概要

町民一人ひとりが、生涯健康でスポーツを気軽に楽しみ、充実した生活が送れるように、社会体育事業を実施してきた。特に、町民体育館のリニューアルしたトレーニング室を使つての健康教室などに重点をおいて、体を動かす楽しさを実感できる事業を展開してきた。

## ▶成果と課題

各種の町内スポーツ大会は、毎年開催しているが、町民の趣味の多様化に伴い、参加者が減少傾向にある。個人的な筋力トレーニングのような事業は、要望もあり、これからも継続的に開催していかなければならないと思う。団体スポーツ事業の活性化に向けた取組みが今後とも重要であり、各年代に合わせたスポーツの提供や指導環境の整備を図っていかなければならない。

また、姉妹都市の福島県柳津町とのスポーツ交流も、関係者との協議を重ねながら、交流を活発にしていきたい。

この項目について教育委員や学校関係者、教育課職員の主な感想は、次のとおりである。

- ・十分、活動がなされている。
- ・柳津町との交流は、両町とも大変友好的で次回を期待している。
- ・柳津町とは、今後もスポーツ交流を続けていきたい。
- ・子ども達向けのスポーツ教室は、健全育成のためにはありがたい。体力、技術面だけでなく、仲間づくり等社会性にも目を向けていくのがよい。
- ・スポーツ大会・教室が活発に行われている。
- ・新しいスタイル（歴史的な文化等）で全町民参加型イベントの再構築を。（既存より脱皮したもの）
- ・今後とも、継続をしてもらいたい。
- ・柳津町との交流では、小・中学校も交流があってもよいと思う。
- ・若者が年々減少傾向にある。各種スポーツの活用化も難しくなっているようだ。
- ・現状（人口、回数）からすれば、種目等ポピュラーになっても、いかしかたない面もある。
- ・どのような声があるのか、提示して検討したい。
- ・長く続けるためには、種目を十分に検討する必要あり。
- ・参加チームが、固定化しつつあるので、もう少し幅広く集まれば良いと思う。

10 重点施策	学校・社会教育「施設の整備充実について」
<p>▶ 整備の状況</p>	<p><b>1 学校教育施設の主な整備状況</b></p> <p>(1) 出雲崎小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内・体育館放送設備改修工事</li> <li>○給食室ボイラー改修工事</li> <li>○通学バス運行事業</li> </ul> <p>(2) 出雲崎中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校舎棟トイレ改修工事</li> <li>○給食室ボイラー改修工事</li> <li>○教室棟屋上防水シート改修工事</li> <li>○理科室エアコン設置工事</li> </ul> <p><b>2 社会教育施設の主な整備状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中央公民館外壁・屋上改修工事</li> <li>○中央公民館スケッチ画保管室空調設備改修工事</li> </ul> <p><b>3 社会体育施設の主な整備状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町民テニスコート照明器具取替工事</li> <li>○町民体育館アリーナ照明器具取替工事</li> <li>○屋内ゲートボール場屋根改修修繕</li> <li>○町民野球場外野整備</li> </ul>

▶ **概要**

学校施設をはじめ、町民の健康づくりのため、社会体育施設の整備を計画的に進めてきた。懸案であったそれぞれの施設の大規模改修工事は、おおむね整備が完了できた。

▶ **成果と課題**

学校施設では、出雲崎中学校のトイレ改修工事が国の交付金を当てて平成 23 年度完了することができた。これにより、すべての学校のトイレ工事が完了したことになった。また、小学校の放送設備や小・中学校の給食室ボイラーも改修ができ、学習環境も徐々に進んできている。社会教育施設では、中央公民館外壁・屋上改修工事が完了し、町民体育館と併せて、大規模な整備工事は、おおむね平成 23 年度で完了できた。

今後は、財政面との調整の中で、いままで未整備の施設を年次計画の中で整備していかなければならない。

この項目について教育委員や学校関係者の主な感想は、次のとおりである。

- ・学校、社会教育施設等の整備を実行する場合、多額の費用がかかるので、徐々に実行されている。
- ・十分、充実していると思う。
- ・予算を考えながら、有効に徐々に充実に向かっている。
- ・素早い対応と計画的な整備状況にある。
- ・教育環境を整えてもらったので、学力向上にむけてがんばりたい。
- ・「私たち出中学生を見て下さい」と胸をはって言える子どもを育てたい。
- ・小学校、中学校のトイレがきれいになり使いやすくなった。
- ・社会教育施設で老朽化している部分は、補修してほしい。



出雲崎中学校トイレ施設完成



給食室ボイラー完成

### Ⅲ 学識経験者からの総合評価

元長岡市立北中学校校長 山崎十五郎

第5次出雲崎町総合計画の初年度に当たり、その基本構想に沿って、教育計画も構成が一新されている。時恰も、3. 11東日本大震災という天変地異に見舞われ、それに、福島原子力発電所事故が同時発生し、一時は、日本中が茫然自失の状態に陥っていた。

そして今、国と地方、自然と人間、高齢者と若い世代、子育てをする人たちと地域等、あらゆる人間関係の「結び直し」が求められている。23年度の「点検・評価報告書」を読ませていただくと、出雲崎町の教育にあっては、教育委員会が各学校や関係機関との間に適切なパートナーシップを発揮され、着実な取組がなされていることが窺える。

特に、従来から続いている町の特色あるイベントに子どもたちの参画や各世代との交流など基本理念を生かした活動に発展してきている点は高く評価したいと考える。以下、いくつかの項目について私見を述べさせていただきます。

#### ○学校と地域との関係

今、学校と地域が密接な関係を築いていくことが全国的な課題となっている。出雲崎町は、「学校・家庭・地域の連携充実」を重点施策に掲げ、学校支援地域本部事業等に主体的に取り組み、大きな成果を上げている。学校ボランティア活動に多くの町民の方々が快く参加されていることに、教育を通してよりよいコミュニティづくりを、という想いが伝わってくる。小・中学校各学年の取組に加えて、未来の夢講演会や地域に根ざした文化・芸術事業の推進など、過去の歴史を振り返りながら子どもたちの未来に期待する視点は重要である。

#### ○情報発信

情報化社会にあって、教育委員会が行政と教育の各分野、そして地域の人たちとのつなぎ役として、双方向のコミュニケーションを意図されていることはありがたい。小・中学校のホームページを開くと校長の思いや児童・生徒の活動の様子、小・中連携教育の具体的な姿がリアルタイムで読み取れる。また、その場にいつもPTAや教育委員の皆さんの姿が見られることは心強い。多忙な教育活動の中で「更新」はままならぬと思われるが、今後は情報教育アドバイザー等との連携がいっそう求められる。このことは、これからのICT教育につながっていくからである。

## ○防災教育

防災教育は、今まで危機管理の側面から行われてきた傾向があるが、この度の大震災を機に根本から見つめ直す必要がある。このとき、最も大事なことは、「自ら判断して自らの命を守る」という主体的に行動する姿である。すなわち、「生きる力」の教育そのものである、と言える。既に当町では中学校の理科の授業で「放射能教室」が実施されたり、海岸地域の町民避難訓練に児童・生徒も参加するなど意識付けが図られてきている。しかし、「災害にはシナリオがない。場面場面に応じた基本方針を明確に。」等、教育委員やPTA役員からの指摘もある。喫緊の課題としての的確な対応を望む。

「天領の風情伸び伸びと」と新聞紙上で紹介された東京芸大院生らを招いての小・中学生スケッチ教室、そこに参加した子どもたちの表情は、町教育の基本方針を象徴しているように思われる。学校教育と社会（生涯）教育の両分野において多岐にわたる取組がなされており、施設設備の充実に向けての予算措置にも町民の参加意識を高めるための配慮がなされていた。この「点検・評価報告書」をまとめるに当たり、きめ細かなアンケート調査を実施されまとめられた真摯な姿勢に敬意を表したい。今後とも寄せられた貴重な御意見に対して議論・検討を重ねて、教育委員会が実質的な役割を果たしていくことを祈念している。

IV その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立北中学校長	山崎 十五郎	柏崎市在住

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(敬称略)

職 名	氏 名	備 考
委員長	木川 勇三	
委員 (職務代理者)	村越 隆夫	
委員	内山 才子	
委員	棚橋 正吾	
教育長	佐藤 亨	

—職員名簿—

平成 24 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	備 考
教育課長	田中 秀和	
教育課参事	田中 宥暢	
社会教育係長	辰口 芳子	
教育課主任	若山 和義	
教育課主任	五十嵐丈明	
教育課主事	磯田 勇人	
事務職員	山後 美智子	
事務職員	小川 真紀子	
用務員	小林 秋子	